

関西電力株式会社美浜発電所原
子炉設置変更許可申請（1号、
2号及び3号原子炉施設の変
更）の概要について

平成10年9月

1 申請の概要

(1) 申請者

関西電力株式会社 取締役社長 秋山 喜久

(2) 発電所名及び所在地

美浜発電所

福井県三方郡美浜町丹生

(3) 原子炉の型式及び熱出力

型式 濃縮ウラン、軽水減速、軽水冷却、加圧水型

熱出力 1号炉

約1,031MW (電気出力340MW)

2号炉

約1,456MW (電気出力500MW)

3号炉

約2,440MW (電気出力826MW)

(4) 申請年月日

平成10年2月3日 (一部補正 平成10年4月17日)

(5) 変更項目

3号炉の使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力を変更するとともに、3号炉の核燃料物質取扱設備の一部及び変更後における使用済燃料貯蔵設備を1号炉及び2号炉と共用化する。

なお、この変更に伴い核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の構造及び設備の記載を最近の記載形式に合わせる。

(6) 工事計画

3号炉の使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力の変更に伴う工事計画は第1図のとおりである。

(7) 変更の工事に要する資金の額及び調達計画

本変更に係る使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力変更工事に要する資金は約35億円である。

これらの工事に要する資金は、自己資金及び一般借入金により調達する予定である。

2 変更の概要

本変更は、使用済燃料の貯蔵体数の増加を図るため、3号炉の使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力を変更するとともに、3号炉の核燃料物質取扱設備の一部及び変更後における使用済燃料貯蔵設備を1号炉及び2号炉と共用化するものである。

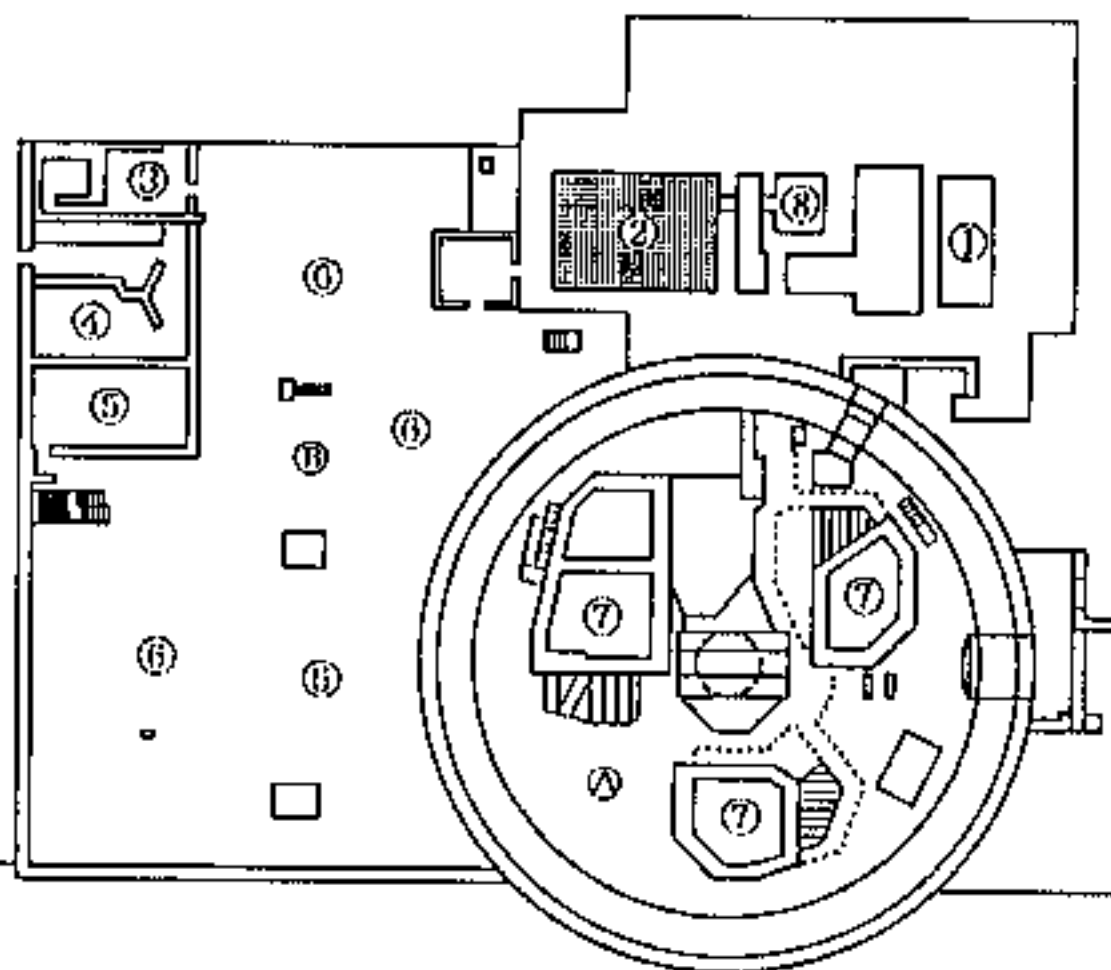
貯蔵能力の変更及び共用化により、1号炉、2号炉及び3号炉の使用済燃料貯蔵設備の貯蔵容量及び能力は第1表、第2表のとおりとなる。

第1表 使用済燃料貯蔵設備の貯蔵容量

	変更前	変更後
1号炉の使用済燃料 貯蔵設備の貯蔵容量	約290体	同 左
2号炉の使用済燃料 貯蔵設備の貯蔵容量	約560体	同 左
3号炉の使用済燃料 貯蔵設備の貯蔵容量	約420体	約1,120体

第2表 使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力

	変更前	変更後
1号炉の使用済燃料 貯蔵設備の貯蔵能力	全炉心燃料の約240%相当分 (約290体)	全炉心燃料の約240%相当分 (約290体) (1号炉(既設)) 全炉心燃料の約920%相当分 (約1,120体) (3号炉原子炉補助建屋内1号、2 号及び3号炉共用(一部既設))
2号炉の使用済燃料 貯蔵設備の貯蔵能力	全炉心燃料の約460%相当分 (約560体)	全炉心燃料の約460%相当分 (約560体) (2号炉(既設)) 全炉心燃料の約920%相当分 (約1,120体) (3号炉原子炉補助建屋内1号、2 号及び3号炉共用(一部既設))
3号炉の使用済燃料 貯蔵設備の貯蔵能力	全炉心燃料の約270%相当分 (約420体)	全炉心燃料の約710%相当分 (約1,120体) (3号炉原子炉補助建屋内1号、2 号及び3号炉共用(一部既設))



A	原子炉格納施設
B	原子炉補助建屋
1	新燃料貯蔵庫
2	使用済燃料ピット
3	水素及び廃棄物貯蔵区域
4	ドラム詰室
5	硫酸タンク室
6	換気装置
7	蒸気発生器
8	キャスクピット



今回変更箇所

使用済燃料貯蔵設備の配置図(3号炉)